

待望の酷暑期用チンゲンサイ新品種

NX-BP180

チンゲンサイ

茨城県行方地区は全国でも有数のチンゲンサイ産地です。周年栽培に取り組んでいますが、近年の夏場の猛暑による高温障害等による商品歩留りの低下に悩み、なかなか打開策を打ち出せずにいました。弊社では、その課題解決のため、「NX-BP180」の開発普及を進めています。2017年夏の栽培結果をレポートします。



評価のポイント①

耐暑性が高く、
高温障害が比較的
少ない

圃場では、チップバーンや節間伸長の発生が他品種と比べてごく少なく、歩留りの高さが際立ちます。



評価のポイント②

株締りがよく、
見た目が美しい

夏場のチンゲンサイは形状の乱れが起きやすく、出荷時の見栄えが問題になりますが「NX-BP180」ならその心配が少なく済みます。



評価のポイント③

酷暑期でも
重量感が群を抜く！

夏場のチンゲンサイとは思えない重量感に、生産者からは驚きと共に高い評価を頂きました。



「NX-BP180」



他社品種

茨城県のほかに、群馬県と埼玉県での試作結果を報告いたします。どの生産者も試作1～2年目ですが、いずれも次年度は拡大したい、もしくは種子を購入して実際に使いたいという大変うれしい評価を頂いております。

生産者の声①

夏場の栽培でも、株張り十分！

盛夏期の収穫では、葉柄の部分が細くなりがちですが、「NX-BP180」は葉柄が太く肉厚になり荷姿も非常にきれいです。

群馬県
7/9定植 → 8/3撮影 (ハウス栽培)



生産者の声②

葉柄の色が濃く、見た目が良い！

葉柄は、他社品種と比べて非常に濃緑でテリがあり、見栄えが良いことが特長です。葉も同様に濃いので、見た目がとてもきれいです。

群馬県
7/5定植 → 8/4撮影 (露地栽培)



生産者の声③

春先でも抽苔が遅く、葉柄ががっちり太る！

露地栽培の4月播種では、地温がまだ低く、条件によっては抽苔する心配もあるが、この品種では抽苔が見られなかった。また葉柄が寸胴型でがっちりとよく太る。

埼玉県
4/8播種 → 5/18撮影 (露地栽培)



生産者の声④

出荷調整後の荷姿が大変きれい！

FG袋に入れる際、外葉を落とし出荷調整しますが、外葉を落としても荷姿が、非常にきれいです。また葉色も他社品種と比べ濃いのが特長です。

埼玉県
4/20播種 → 6/15撮影 (ハウス栽培)



生産者の声⑤

播種幅広く、春～夏～秋まで使用できる！

3～4月播種で春用品種を使用し、その後5～7月播種は夏用品種を、8～9月播種は秋用品種を使用していたが、これからは「NX-BP180」で春先から初秋まきまでこれ一本で行けるので、品種を切り替える必要がなくなつた。

埼玉県
6/25播種 → 8/2撮影 (露地栽培)



各産地で続々と高評価を獲得しています！詳しい作型はP22へ！